

第56回優秀畜産技術者賞を受賞しました

家畜改良センター改良部 情報分析課 佐分 淳一 乳用牛評価第一係長が、第56回優秀畜産技術者賞を受賞しました。

この賞は、(公社)畜産技術協会が(一財)日本中央競馬会弘済会との共催により、畜産技術者の技術向上を促し畜産技術の発達普及に資することを目的とし、畜産技術の研究、開発または優秀技術の普及、指導上顕著な功績を上げた将来性に富む意欲ある全国の中堅技術者を対象に表彰するもので、顕著な業績を上げた10名を選んで(公社)畜産技術協会が表彰します。

佐分係長は、飼料作物及び肉用牛の遺伝子解析業務に取り組む中で2つの特許(牧草の品種鑑別法:特許第3833608号、牛肉の脂肪酸組成に影響するDNAマーカーの同定:特許第4239032号)を取得し、牧草の品種鑑別及び肉用牛の肉質向上に重要な貢献を果たしました。

さらに、乳用牛の遺伝的能力評価業務に従事する中で、ゲノム情報である一塩基多型(SNP)情報を利用した遺伝的能力評価(ゲノミック評価)を日本に初めて導入し、我が国の乳用牛の改良速度を大幅に向上させました。

このように、佐分係長が開発と実用化に携わった技術は、国内の畜産・酪農の国際競争力の強化につながる技術であり、この貢献が認められ、今回の受賞となりました。



受賞した佐分係長(左)と入江理事長(右)